

伝統と未来

宗教が発展するには三つの要素があります。一つ目は創始者がどのような方であるのか、二つ目はどのような経典、思想をを持っているのか、三つめはどのような組織であるのかという事です。

世界的に大きな宗教にキリスト教がありますが、イエス様が生きていらっしゃるときには受け入れられませんでした。その後イエス様を証しようとして献身的に歩んだことにより今のキリスト教があるのです。亡くなってからその伝統を受け継いだ弟子により発展してきました。

そして統一教会においては原理を学んだ方は多くいますが、犠牲の道を歩み方はそれほど多くありません。この道に残っている人はまさしく種になる人たちであると思うのです。父母様の伝統を相続して子孫に連結していける人が残っていると思うのです。その種がどのような実を結ぶかが;とても重要であるのです。

それでは伝統について考えてみたいと思います。ウナギ屋さんを例に挙げると何年も続いている老舗という事で自慢しているのです。また有田焼は韓国から渡ってきて日本で発展していきました。それを考えれば、統一教会も韓国が発祥ですが、日本で発展して世界の宗教になっていってもいいというのです。統一教会の名を子孫に残すのではなく父母様の伝統を相続させ残すことが重要なのです。成長しているかどうかという表面的なことではなく根っこである伝統が相続されているかどうかという事が重要なのです。伝統を残し、子孫を残さなければなりません。強く雄々しい2世に育てなければなりません。自分の信仰を自慢できるそのような2世に育てなければなりません。そのような伝統があるところに未来があり、その伝統が伝道をするのです。いろいろな悩みがあつたとしても、確信を持って前に進んでいきたいと思ひます。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 50周年特別路程 (9月2日～11月30日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。

3. 代々木聖地祈禱会(浦和教会担当) → 場所は浦和教会です  
日時: ~~9月19日(金) 5:00~~ 9月17日(水)5:00に変更

4. 3地区主催 健康講演会  
日時: 9月17日(水) 10:30～  
場所: 大宮教会

5. 金曜夜の祈禱会  
9月19日(金) 21:00～  
地区長、近藤先生をお迎えてのみ言集会になります。

6. 青年学生1万名大会「Global Youth Festival 2014」  
日時: 2014年9月23日(祝日) 10:00～13:00 会場外ブース  
会場: 幕張イベントホール 14:00～16:00 本大会

7. 日本統一教会創立55周年記念行事  
日時: 10月1日(水) 開場12:30 開会13:30 終了16:00頃 予定  
場所: 新宿文化センター  
参加対象: 受賞者、本部長、全国地区長と教区長、先輩家庭、首都圏(3・5・6・14地区)の教会長・婦人代表・教会員

- ① 服装は、正装で参加願ひます。
- ② FMラジオを持参して下さい。
- ③ 入場チケットが必要となります。

8. 「2014 秋季清平特別大役事」東埼玉教区ツアー  
10月25日(土)～10月27日(月)  
69,000円  
漢南洞公館、天福宮、旧本部教会、真の父母様歴史記録院訪問



【年頭標語】

참조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification  
of World Christianity Urawa Church  
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12  
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797  
E-mail: uc.urawa@gmail.com

## 式次第



執礼者：田川敏伝道教育部長

司会者：赤岩弘一

開 会	.....	司会者
黙 禱	.....	全 体
※開会讃頌	..... 聖歌 30番	全 体
※敬 拝	.....	全 体
※家庭盟誓	.....	全 体
代表祈禱	.....	中村敏樹
讃 頌	.....	聖歌隊
み言訓読	.....	全 体
説 教	たといそうでなくても	
※讃 頌	..... 聖歌 49番	全 体
※祝 禱	.....	執礼者
※全体祈禱	.....	全 体
教会音信	.....	司会者
閉 会	.....	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

## 今週のみ言

もし淋しい時期が来たとしても、力が出ないような基準があるとして、そこで落胆したりしてはいけない。そういう期間があるからこそ、谷を越えることができるんだね。そこには神も干渉出来ない。サタンも干渉出来ない。自分一人ながらやっていかなければならない、そういう期間があるんだよ。暗礁地帯みたいなの、そういう期間が。腹いっぱい力を出そうとしても出せない。神に自分は捨てられてしまったような思いがする。神がいるかいらないか思いもつかない時期があるんだよ。そういう時をいかにして乗り越えるか。

そういう立場に立てばたつほど、今まで神共に我を守り、励ましてくれた、そういう基準を中心として、間違いなく神は自分を愛しておるといふ、信仰でもって乗り越えなければならぬ。誰が何と言おうと、この期間は克服するんだね。誰も頼りにできない。自分ながらの存在を認められないような立場に落ち込んだとしても、絶対に落胆してはいけない。

親は子供が苦悩の立場に陥った時、その子供を見て、あるいは知って、これはもう苦悩の立場に立たざるを得ないと同じ位置なんだ。そういう時になればなるほど神は我々をもっと愛したい心が内心には高まっている。しかし、立場がこうだから愛することができない。しかし、これさえ抜け出れば、必ず神の愛は自分にたどってくる。そういうふうにして信仰で乗り越える。そして乗り越えて行った場合には、必ず大きい恵みにつながるんだね。こういう体験をあなたたちは何回かすれば、いかに淋しい所でも、孤独な立場でも、絶対、み旨に対して疑ったり、行くべき道に対して思案したり、そういうことはあり得ないというんだね。

～ 1974年11月26日 ～

## 統一運動

「天の伝統を相続し、真の父母様の似姿となろう！」

「天の伝統を相続し、真の父母様の似姿となろう！」のスローガンのもと、アメリカ西部の大自然などを舞台に「Jr.STF JAPAN アメリカアドベンチャーワークショップ2014」が7月22日～8月13日にかけて行われ、高校生の修練生14人とスタッフ5人の計19人が参加しました。この修練会の総指揮を務めた本部青年学生局の今井康やすまさ勝ディレクターがレポートします(注:「Jr.STF-JAPAN」プログラムは、日本統一教会が主催する中高生育成プログラム)。

天の父母様が創造された大自然に包まれながら、真の父母様が天の父母様とご自身の関係について問いかげられたように、私たち自身も何故生まれ、どのように生き、何を成して、どのように死ぬのかを探し求めながら歩きました。ただ漠然と観光のように歩むのではなく、「天の伝統を相続し、真の父母様の似姿となる」ために真の父母様がどのように天の父母様に侍られるかを研究するとともに、天の父母様・真の父母様の願いや心情を悟り、考え、実際に行動し、修練生たちは失敗する度に正され、少しずつ天の父母様・真の父母様に「侍る」とはどういうことかを悟ることができるようになっていきました。

